

## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課  
担当課長名：奥村 康博

事業名：一般国道470号 能越自動車道 輪島道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北陸地方整備局		
起終点：自：石川県輪島市三井町本江 至：石川県輪島市三井町洲衛		延長：4.7km		
事業概要：一般国道470号輪島道路は、高規格幹線道路「能越自動車道」の一部を構成し、高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成、第三次医療施設へのアクセス向上、地域の発展・観光の活性化などを目的とした、延長4.7kmの高規格幹線道路の整備を行う事業である。				
H18年度事業化	H11年度都市計画決定	H22年度用地着手	H25年度工事着手	
全体事業費	約230億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	83% 供用済延長：0.0km	
計画交通量	6,600～11,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.1 (1.2) (残事業) 1.7 (4.1)	総費用：(残事業)/(事業全体) 385/629 億円 (事業費：314/558 億円) (維持管理費：71/71 億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 668/668 億円 (走行時間短縮便益：542/542 億円) (走行経費減少便益：91/91 億円) (交通事故減少便益：35/35 億円)	基準年：令和元年度
感度分析の結果：(事業全体) 交通量：B/C= 0.93～1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C= 1.5～1.9 (交通量±10%) 事業費：B/C= 1.01～1.1 (事業費±10%) 事業費：B/C= 1.6～1.9 (事業費±10%) 事業期間：B/C= 1.03～1.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C= 1.7～1.8 (事業期間±20%)				
事業の効果等： <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光資源豊富な能登地域へのアクセス向上                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・輪島市は、輪島朝市や輪島温泉郷など全国的にも有名で特色のある観光資源が豊富に恵まれている。のと里山空港や輪島港に直結する輪島道路の整備により、交通結節点や能登半島の各観光地へのアクセス性が向上し、輪島市への入込み客数の増加が期待される。</li> </ul> </li> <li>②地域連携プロジェクト（石川県新長期構想）の支援                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県の長期計画である「ダブルラダー輝きの美知」構想の実現に寄与し、南北に長い県土の交通ネットワークの多重化を図るとともに、北陸新幹線開業効果を県内全域へ波及させる。</li> </ul> </li> <li>③救命救急活動の支援                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・能登地域に存在する第三次医療施設は七尾市の公立能登総合病院のみであり、輪島道路の整備により、カーブなどの回避による搬送車の負担軽減が図られるとともに、公立能登総合病院への搬送時間が約11分短縮され、死亡率の低下も期待される。</li> </ul> </li> <li>④緊急輸送道路ネットワークの強化                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・輪島道路の整備により災害に強い代替路線が形成されることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。</li> </ul> </li> <li>⑤バス交通の定時性確保                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成13年度にのと鉄道が廃線となり、輪島市の交通手段は自動車のみとなっており、現在は金沢・穴水等へ1日47便の高速バスが運行している。輪島道路の整備により、バスの定時性確保・快適性の向上が期待でき、地域住民の移動や観光の利便性向上が期待される。</li> </ul> </li> </ol>				
関係する地方公共団体等の意見： <p>地域から頂いた主な意見：輪島市から、早期開通に向けた道路予算の確保並びに整備促進の要望を頂いている。</p> 知事の意見： <p>国道470号は、能登地域の活性化に寄与するとともに、北陸自動車道及び東海北陸自動車道と連結し、全国各地との交流ネットワークを構築する重要な路線であり、さらに、災害時における緊急輸送道路としても大きな役割を担うものと考えている。</p> <p>北陸新幹線開業効果を持続・発展させるとともに、能登地域における広域交流の一層の促進、さらには災害時の代替性の確保を図るためにも、本区間の早期整備が不可欠となっている。</p> <p>国道470号輪島道路については、引き続き事業を継続し、2022年夏迄の供用を目指し、着実に整備を進めていきたい。</p>				

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成25年3月 能登有料道路（現のと里山海道）の無料化      平成27年3月 北陸新幹線の開業  
 平成27年2月 七尾水見道路全線暫定2車線開通      平成28年4月 田鶴浜七尾道路 新規事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業の進捗状況：用地進捗率100%、事業進捗率83%
- ・残事業の内容：改良工事等

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・改良工事等を推進し、2022年夏迄の暫定2車線開通を目指して事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。

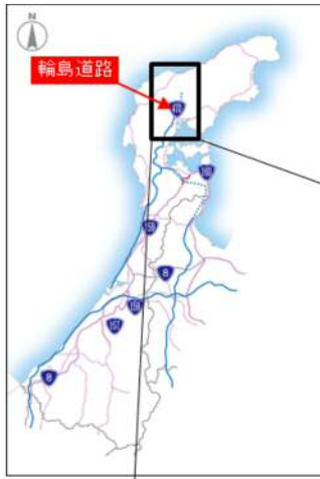
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みなどからも、引き続き事業を継続することが妥当であるとする。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。